

府立大学の法人化

急いで行われた半ばは無理矢理の法人化

半ばは無理矢理に発足させたといつのが正直なところだ。

府立大学は平成十七年四月に府立の三大学（府立大学、女子大学、看護大学）が統合して「公立大学法人大阪府立大学」に移行しました。国立大学は、平成十六年の四月から国立大学法人になったので国に遅れること一年ですが、法人の発足にあたっての準備期間は充分ではありませんでした。

教員は全員が公務員の身分から「法人の職員」にかわりました。行政職員の人たちは大半が大阪府からの出向者ですが、中には希望して法人職員に身分を変更した人もあります。法人になってから独自に採用したプロパー職員は、府派遣の人たちにくらべるとまだ少数ですが年ごとに増えています。

続



サイエンティストの目

森 利明

(もり としあき)

大阪府立大学 先端科学イノベーションセンター

ています。大学の仕事は多岐にわたるので事務的もしくは技術的な仕事や、研究室の雑多な仕事をサポートしてくれる臨時職員の協力なくしてはやっていけません。とにかく大学といふところは学生もふくめて人の移動がはげしいところなので顔と名前を覚えるのがたいへんです。

府立の三大学が統合しましたが、旧看護大学の機能は実質的には法人化前とあまりかわりません。しかし女子教育で伝統のあった旧大阪女子大学は消滅し女子大の教職員と学生は、中百舌島地域に「集約」されました。法人化に際して学部の再編がおこなわれた結果、工学部、生命環境学部（もとの農学部）、理学部、経済学部、人間社会学部、看護学部、総合リハビリテーション学部の七学部と、総合教育研究機構と産学官連携機構、学術情報センター（図書館をふくむ）という組織になりました。

大学間格差は拡大 研究と教育はアンバラ

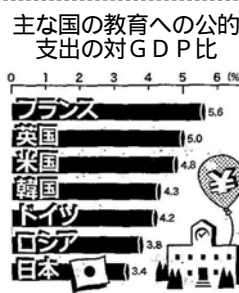
府立大学の法人化は大阪府の大学政策の結果ですが、これは三大学にとっては「創立以来の大変革」でした。日本全体でも国公立私立をふくめて百年に一度というほどの大学改革の嵐が吹き荒れていると云ってもいいくらいです。文部科学省は、国立大学が法人化しても予算は削減しない、国家公務員でなくなるので定数削減もないなど云っていましたがそれは真ッ赤なワソ。毎年一%の効率化係数と病院には二%の経営改善係数がかげられて予算は削減、大学間格差は拡大する一方で、研究と教育のアンバランスが問題になってきています。

削減に削減の上、橋下プランで予算追加削減

府立大学でも国立大学と同様、府からの運営交付金に効率化係数がかげられ毎年予算が削減されつついま

教育への公的支出 日本は最下位

OECDがこのほどまとめた08年版「図表で見る教育」によると教育への公的支出は、データがある28カ国中、日本は最下位で3.4%です。なお、平均は5.0%です。



したが、橋下プランで今後三年間に合計二十億円も追加削減されることになりました。大学の責任者でも「もつムチャクチャ」と云うくらいひどい内容です。天然資源にとほしい日本がこれからも発展していくためには国民一人ひとりの力をつけていかななくてはなりません。日本は欧米にくらべて教育への公的支出が低いことが以前から問題になっていますが、本当にこんなことではないのでしょうか。

(もり としあき)